

東京歯科大学市川総合病院 歯科口腔外科

を受診された方へご協力をお願い

東京歯科大学市川総合病院 歯科口腔外科では

「歯原性角化嚢胞の生物学的挙動解明のための後方視的研究」

上記の臨床研究を行っております。

この研究は東京歯科大学市川総合病院において高度な水準での歯科口腔外科医療を提供するため、過去に当科において歯原性角化嚢胞に対する治療を行った患者さんの病理組織標本をあらためて見直し、治療後の経過との関連を調査することを主な目的としています。そのため、治療を受けた患者さんの治療データを使用させていただきたいと考えております。

この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しております。

研究の概要

1. 研究の背景および目的

歯原性角化嚢胞は、顎骨内に発生する良性の嚢胞性疾患です。口腔内に発生する他の嚢胞性疾患と比較して再発を繰り返しやすく、長期にわたって治療が必要となることがありますが、その詳しいメカニズムは解明されておられません。東京歯科大学市川総合病院の歯科口腔外科では、当科において治療を行った歯原性角化嚢胞の病理組織学的特徴と治療後の経過を調査することで病気の特性を解析し、治療成績の向上に役立てる研究を行っております。

2. 予想される医学上の貢献および研究の意義

歯原性角化嚢胞の特徴を調査することにより、再発をきたしやすい病変の特定や、再発しにくい治療法の確立を目指します。

3. 研究の対象と方法

1) 対象者

2017年1月1日～2021年12月31日までの5年間に歯科口腔外科において治療を行った患者さん。

2) 研究方法

2017年1月1日～2023年3月31日までのカルテデータおよび病理組織標本から、患者

さんの性別、年齢、病変の発生部位、治療法、再発の有無、病変の病理組織学的特徴を調査します。また、これらのデータは将来、本疾患の病態解明のための他の研究に利用させていただく場合があります。その場合には、再度倫理審査委員会の承認を得たうえで行います。

3) 使用する情報

カルテから以下の情報を使用させていただきますが、患者さんの個人を識別できる情報を削除し、匿名化して個人情報漏洩しないように致します。

(使用する情報)

- ・年齢、性別、既往歴、病変の発生部位、治療法、再発の有無等の患者情報全般
- ・検査データ：血液検査、病理組織検査、画像データ（CT、MRI等）

4. 個人情報の取扱い

電子データはパスワードで制御されたコンピューターに保存し、その他の情報も施錠可能な場所に保存します。また、研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間保存させていただいた後に適切に廃棄いたします。

5. 費用

この研究により、新たな検査や費用が生じることはございません。また、情報を使用させていただいた患者さんへの謝金等もございません。

6. 結果の公表

研究の結果については、学会や専門誌等に発表されることがありますが、個人が特定できるような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

7. 研究計画書の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができます。

ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は、お手数ですが研究期間終了までにお申し出ください。その場合には患者さんのデータは本研究には使用いたしません。ご了承いただけない場合でも、診療等の病院サービスにおいて患者さんへ不利益が生じることはありません。その他、ご質問等ありましたら遠慮なくお問い合わせください。

<問い合わせ先>

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

電話： 047-322-0151

歯科口腔外科／口腔がんセンター 関川翔一